

# 小野市議会だより

2024.5  
No. 211

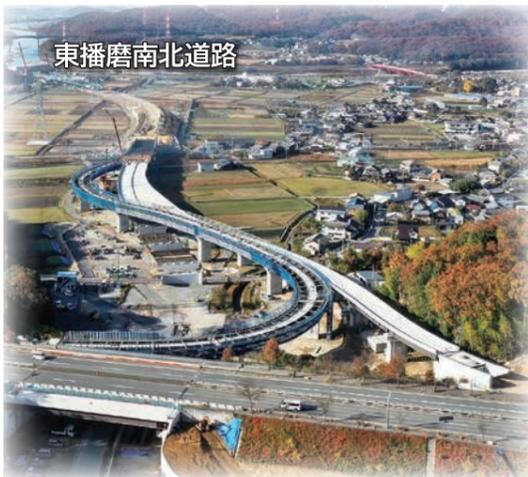
世代をつないで、市制施行70周年



新幼稚園イメージ



東播磨南北道路



# 令和6年度 予算審査

令和6年度当初予算に係る7議案について、予算決算常任委員会へ付託し、3月14日、19日の2日間、担当部局ごとに予算審査を実施しました。今年度も昨年度と同様、日程を短縮し、質問項目を事前通告制にして簡潔な説明を求めました。

反対討論もありましたが、採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決定しました。

## 未来を築く『持続可能な小野市』の実現

### 【4つの柱】

- ①次世代へつなぐまちづくりの推進
- ②市民力による地域づくりの推進
- ③子育て支援・教育環境の充実
- ④安全・安心に暮らせるまちづくりの推進



おの桜つつみ回廊



(仮称)三木スマートインターチェンジ

### 予算額

一般会計	232億6,000万円
特別会計 (国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療)	103億5,600万円
企業会計 (都市開発事業・水道事業・下水道事業)	52億8,780万円

## 市議会が Check!!

Q 標準準拠システムへの移行、令和6年度のスケジュールは？

A 現行システムが持つデータベースにおいて、標準準拠システムの運用に影響を与えるデータ誤りや重複データの抽出・修正作業を実施するとともに、標準準拠システムの運用において生じる現行システムとの差異の確認とその解消方法の検討を行います。また、令和6年度末には、第五次総合行政ネットワークを用いてガバメントクラウドへ接続し、標準準拠システムの構築を開始します。

Q 不登校対策事業の内容は？

A 全中学校と小学校2校に『校内サポートルーム』を設置します。教育サポートセンター(現適応教室)の支援員3人と有償ボランティア3人を「不登校対策支援員」として各校へ派遣し、児童生徒に対する学習・生活指導に加え、保護者の教育や子育てに関する相談に応じます。



Q 市制70周年記念事業の内容は？

A 7月に「うるおい交流館エクラ」での記念イベントを開催、11月には子ども向け体験イベント等の開催や、映画上映を実施する予定です。記念日の12月1日には朝刊での新聞広告を掲載し、記念式典を開催します。

また、関連して市勢要覧の作成及び4本の動画の作成を予定しています。

Q 子どもインフルエンザ予防接種助成の対象者と効果は？

A 生後6か月から高校3年生までを対象にインフルエンザ予防接種費用を一部助成します。接種率を向上させ感染者数を減少させることにより、看病に伴う経済的損失や教育機会の損失を防ぎ、医療費の削減にもつなげます。接種対象者は約7,500人、接種率は50%を想定しています。



Q 中学校部活動指導員配置事業の具体的な内容は？

A 国の補助金を活用し、会計年度任用職員として10人採用する予定です。平日は2時間で週4日、土日はいずれかを4時間で予算計上しています。労働時間が週40時間を超えない範囲での勤務となり、副業は可能です。現在の外部指導員に意向調査しており、部活動指導の充実と教員の負担軽減を図ります。

Q 「健康づくりポイント」とは？

A おのアクティブポイントをデジタル化して、ボランティアポイントの付与対象者の年齢を60歳以上から20歳以上へと広げます。商品交換も電子による配付を検討しています。



Q ごみステーション整備助成経費の内容は？

A ①ごみステーションの環境を整備した自治会に対して、従来は上限30万円で費用の1/3の助成を行ってきましたが、今後3年間は1/2の助成を行います。②希望する自治会については、びんの回収に使用しているスチール製のドラム缶をプラスチック製のドラム缶に変更します。今後3年間に交換する場合には初回の交換費用を全額、市が負担します。

予算執行が適正に行われるよう、市議会が監視します。



# 第446回 3月 定例会

会議期間30日間  
(2月26日～3月26日)

市長提出議案…22件  
(当初予算7件・補正予算4件・条例8件・その他3件)

一般会計予算(議案第1号)  
一般会計補正予算(議案第8号)  
**新幼稚園整備、建設工事始まる**

人口減少に伴い園児が減少している中、市民ニーズに対応し時代に即応した効率的な幼稚園運営を実施するため、公立学校施設整備国庫補助事業を活用し「おの幼稚園」の建設工事に着手します。

### 《スケジュール》

- 令和4年 耐震診断、基本設計
- 令和5年 実施設計、小野東幼稚園職員室等改修
- 令和6年、令和7年、令和7年、新幼稚園園舎建築工事
- 令和7年 周辺整備工事(駐車場等)

### 《総事業費》

7億7,000万円  
(うち令和5年度3月補正1億4,900万円)



### 【介護保険料の改正内容】

各所得段階の対象者	所得段階	改正前	改正後
		年額保険料	年額保険料
●生活保護を受給している人 ●世帯全員が市民税非課税で、老齢福祉年金を受けている人	第1段階	20,880円	20,520円
●世帯全員が市民税非課税で、前年の合計所得金額+課税年金収入額が80万円以下の人	第2段階	34,800円	34,920円
●世帯全員が市民税非課税で、前年の合計所得金額+課税年金収入額が80万円を超え120万円以下の人	第3段階	48,720円	49,320円
●世帯の誰かに市民税が課税されているが、本人は市民税非課税で、前年の合計所得金額+課税年金収入額が80万円以下の人	第4段階	62,640円	64,800円
●世帯の誰かに市民税が課税されているが、本人は市民税非課税で、前年の合計所得金額+課税年金収入額が80万円を超えている人	第5段階(基準額)	69,600円	72,000円
●本人が市民税課税で、前年の合計所得金額が120万円未満の人	第6段階	83,520円	86,400円
●本人が市民税課税で、前年の合計所得金額が120万円以上210万円未満の人	第7段階	90,480円	93,600円
●本人が市民税課税で、前年の合計所得金額が210万円以上320万円未満の人	第8段階	104,400円	108,000円
●本人が市民税課税で、前年の合計所得金額が320万円以上420万円未満の人(改正前は320万円以上400万円未満)	第9段階	118,320円	122,400円
●本人が市民税課税で、前年の合計所得金額が420万円以上520万円未満の人(改正前は400万円以上600万円未満)	第10段階	125,280円	136,800円
●本人が市民税課税で、前年の合計所得金額が520万円以上620万円未満の人(改正前は600万円以上)	第11段階	139,200円	151,200円
●本人が市民税課税で、前年の合計所得金額が620万円以上720万円未満の人	第12段階		165,600円
●本人が市民税課税で、前年の合計所得金額が720万円以上の人	第13段階		172,800円

(議案第13号)  
**介護保険料の改正!**  
令和6年度から令和8年度までの第1号被保険者の保険料を改正します。

高所得者の区分を第11段階から第13段階へ多段階化し、低所得者の負担軽減はさらに強化されます。  
《基準額》  
月額5,800円→月額6,000円(+200円3.4%増)

# 提出議案と審議結果

## ★全会一致で可決・同意した議案

区分	議案番号	議案名
新年度予算	第1号	令和6年度小野市一般会計予算
	第2号	令和6年度小野市国民健康保険特別会計予算
	第4号	令和6年度小野市後期高齢者医療特別会計予算
	第5号	令和6年度小野市都市開発事業会計予算
	第6号	令和6年度小野市水道事業会計予算
	第7号	令和6年度小野市下水道事業会計予算
	補正予算	第8号
第9号		令和5年度小野市介護保険特別会計補正予算(第3号)
第10号		令和5年度小野市水道事業会計補正予算(第3号)
第11号		令和5年度小野市下水道事業会計補正予算(第3号)
条例	第12号	小野市公文書公開条例の一部を改正する条例の制定について
	第14号	小野市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について
	第15号	小野市上水道給水条例の一部を改正する条例の制定について
	第16号	小野市手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について
	第17号	小野市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について
	第18号	小野市立幼稚園設置に関する条例の一部を改正する条例の制定について
その他	第19号	小野市新型コロナウイルス感染症対策基金条例の廃止について
	第20号	兵庫県市町村職員退職手当組合理約の変更について
	第21号	小野市農業委員会委員の任命について
	第22号	小野市教育長の任命について 黍田町 小西 博泰 氏(再任)

## ★賛否が分かれた議案と審議結果

議案名等	議決結果	賛成	反対	創生おの			おの未来図		市民クラブ		公明党		無党派		無党派		
				平田真実	安達哲郎	喜始真吾	山本悟朗	前田昌宏	掘井ひさ代	山本麻貴子	河島三奈	小林千津子	前田光教	川名善三	村本洋子	宮脇健一	藤原章
第3号 令和6年度小野市介護保険特別会計予算	可決	13	2	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●
第13号 小野市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	可決	13	2	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●

※ 山本悟朗議員は、議長のため表決権はありません。

賛成=○ 反対=●

# 審議議案の中から PICK UP!!

# ここが聞きたい 一般質問!!

市民のみなさまの生活に  
関わることについて、  
12人の議員が  
一般質問を行いました。

(一般質問は発言した議員が編集しました)



### ●一般質問とは……

市政全般にわたり、執行機関（市長）に対し事務の執行状況や将来における政策方針等について議員が質問し、市長や部長等が答弁します。  
また、小野市では、市長から提出された議案についても一般質問することができます。

### ●質問テーマは？

1. 質問する内容は、議案とは関係なく議員個人が自由に決めています。
2. 議員個人が自分なりの問題意識を市政に問い、市の見解を求めます。

### ●質問の制限時間は？

1人あたりの制限時間は40分です。(答弁は含みません)



### 《一般質問をスマホ・タブレットで視聴できます!》

各議員の顔写真の下のQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、その議員の一般質問などの動画をご覧いただけます。



安達哲郎議員（創生おの）



## 減免制度、市民に周知必要では？

答弁 利用者が了知できるように掲示等周知に努める

質問 市内の有料スポーツ施設では、それぞれの料金設定に沿って利用者が料金を支払い、施設を利用しているが、アレオの個人使用が現在無料であるように、減免制度が施されている施設がいくつかある。現場掲示や、広報、ホームページ等に記載しているものもあれば、龍翔ドームの団体申請での平日2時間の使用料無料等の減免制度のように、市民に多く周知されていない現状がある。公平・公正の観点から、市民が了知できるようにできないか。

答弁 小野まつりは市民主導型で行っており、無形の価値があるものがある。そんな小野まつりに上限を設定するという考えは、そもそも小野まつりの理念・意義を理解していないということである。(市長)

質問 小野まつりの開催費用が総額1億円にのぼり、そのうち、7,800万円は市の税金で賄われている。

答弁 水道の使用料や給食費等、コストアップ分を市民が負担していく現状がある中で、小野まつりの補助金は毎年右肩上がりである。ある一定のところで上限を決めて、限られた予算内で開催するという考えはないのか。

質問 都市公園条例の減免規定に基づき減免措置がなされているが、その中には内規で決まっているものもあり、市民全般に周知できていない現状がある。4月からの料金改定に

答弁 市内の有料スポーツ施設では、それぞれの料金設定に沿って利用者が料金を支払い、施設を利用しているが、アレオの個人使用が現在無料であるように、減免制度が施されている施設がいくつかある。現場掲示や、広報、ホームページ等に記載しているものもあれば、龍翔ドームの団体申請での平日2時間の使用料無料等の減免制度のように、市民に多く周知されていない現状がある。公平・公正の観点から、市民が了知できるようにできないか。

答弁 都市公園条例の減免規定に基づき減免措置がなされているが、その中には内規で決まっているものもあり、市民全般に周知できていない現状がある。4月からの料金改定に

答弁 小野まつりは市民主導型で行っており、無形の価値があるものがある。そんな小野まつりに上限を設定するという考えは、そもそも小野まつりの理念・意義を理解していないということである。(市長)

川名善三議員（公明党）



## 带状疱疹ワクチン接種への助成は

答弁 1回当たり8,000円の助成を検討したい

質問 本年4月より県において、助成を行う市・町へ2,000円を助成する新制度が始まるが、市としての対応は。

答弁 ワクチン接種は、結果として医療費の削減にもつながる。国が、定期予防接種化を見据え安全性などを評価する段階と聞いている。この国の動向を踏まえ、県が補助制度を発表。本市でも実施を検討している。(市当局)

答弁 生ワクチンについては、令和6年度中には実質無料となる8,000円の助成を検討したい。(市長)

### 境界知能について

質問 早期発見と、早い段階での認知機能に関する支援が必要と考えるが、学校現場での対応は。

答弁 幼児を対象とした健診や教育相談等、子育て支援課など関係部局

### 改正障害者差別解消法への対応について

質問 本年4月より「合理的配慮」が努力義務からすべての事業者に義務化されるが、啓発及び周知は。

答弁 市のホームページ、広報おのへの掲載、公共施設への啓発チラシの設置などで広く啓発・周知を行う。正しい理解と合理的な配慮が官民間問わず浸透することは非常に重要と考えるので、今後も継続的に行っていく。(市当局)

前田昌宏議員（おの未来図）



## 人口ビジョン・総合戦略について

答弁 雇用・住環境・地域の魅力創造に取り組む

質問 転入・転出人口の早期均衡に向けて

答弁 市の人口動態分析では、進学や就職を契機に転出が多く、住宅購入の年代で転入が多くなる傾向。人呼び込むために、多様な就労の場の創出と住環境整備に取り組む。加えて北播磨総合医療センターを中核とした医療環境や、子育て環境、教育環境を充実し、地域の総合的な魅力を創造する。(市当局)

質問 今後の税収の見通しは。

答弁 ひょうご小野産業団地や小野工業団地等の立地企業による固定資産税額等(約11億円)は、市の固定資産税額等(約43億円)の1/4を占め市税の底上げ要因となる。一方、個人市民税は人口減少に伴う納税者数の減少によりこの2、3年でピークを迎える。今後の一般財源の歳入額は短期的には現状維持、長期的には収入減が進むと見込む。

質問 新築住宅の推移と宅地の見通しは。

答弁 最近5年間では、新築住宅は年平均約160件で推移。しかし、市街化区域内で利用できる土地が減少しており、市が進める宅地造成の候補地がなく、民間による宅地造成も先細りの見通し。この状況の中、民間活力による市営住宅浄谷団地跡地の宅地造成や、市街地内の住宅

答弁 最近5年間では、新築住宅は年平均約160件で推移。しかし、市街化区域内で利用できる土地が減少しており、市が進める宅地造成の候補地がなく、民間による宅地造成も先細りの見通し。この状況の中、民間活力による市営住宅浄谷団地跡地の宅地造成や、市街地内の住宅

質問 物価高騰による建設費への影響は。

小林千津子議員（市民クラブ）



## 介護サービスの拡充計画について

**答弁** 本市高齢者のニーズにフレキシブルに対応を

**質問** 第9期介護保険事業計画の期間中には、入所型の施設は新設しない。本人や家族のニーズに合ったサービスを提供とのことだがどのような内容か。

**答弁** 市内高齢者を対象とした調査では「最後まで自宅で過ごし必要になれば入院をしたい」方が77.6%で3年前より6.6%増加。「介護施設に入所したい」方は5.1%で、前回より2.8%減少。本市高齢者のニーズに対応するため「在宅介護サービス」への充実を図り、訪問・通所・泊まりのサービスを柔軟に提供できる「小規模多機能型居宅介護施設」1か所の整備を決定。本人や家族の満足度が高い施設であるため、介護保険サービスが今後更に充実すると考える。（市当局）

**質問** 本市の介護保険料の基準額は月額5,800円ですが、本年4月から月額6,000円に改正される議案が提出。負担割合は。

**答弁** 保険料の急激な上昇を抑えるため介護給付費準備基金の一部を取り崩すことで、月額を現行から200円増額とし、高所得者層に負担を求め、低所得者層に配慮する国の方針に準じ、上昇を軽減する。（市当局）

## ひまわりの丘公園の集客力を生かした道の駅構想

**答弁** 大型遊具ができたことで、地域活性化の拠点となり得る「道の駅」の調査研究を行ってきたが、ひまわりの丘公園は道のオアシスとして今後検討を行う。道の駅整備についてはハードルが高いと考える。（市長）

平田真実議員（創生おの）



## 新たな「おの幼稚園」について

**答弁** 五感を刺激し感性を育む、魅力ある園を造る

**質問** 市立幼稚園2園を再編し、令和8年度開園を目指す「おの幼稚園」の建設工事に着手される。市立園としての存続には新たな魅力が必要であるが、どのような園を目指すのか。

**答弁** わか松幼稚園跡という立地を生かし、小学校や高校との連携、自然体験活動、コミュニケーション力の基礎づくり等、脳科学理論を具現化する幼児教育拠点とする。裸足で駆け回れる芝生の園庭、泥遊びを存分に楽しめるスペースなど、五感を刺激する環境を整備し、魅力あふれる幼稚園運営を目指す。（市当局）

## 持続可能な公共施設のあり方について

**質問** 様々な計画に沿って公共施設

**答弁** 単に学校を統廃合するという考えはないが、中学校の長寿命化の次のステップには統廃合もあり得る。もう少し様子を見たい。学校の統廃合についての考えを発信する機会を作りたい。（市長）

前田光教議員（市民クラブ）



## 旧市役所前の桜、記憶に残すか？

**答弁** 桜も生き続けたいだろう。朽ちるまで！

**質問** 防災センター南側駐車場の桜、腐食により伐採予定と聞いている。まさに諸行無常の世界、市政施行70年の節目の年、進化し、変わりゆく小野市の街並み、人と人が繋がりに、まちが繋がりに、歴史を繋いでいく思いで、桜木を「記憶」に残す考えについて問う。

**答弁** 市民の安全を確保する上で、また、樹木医による診断結果等も踏まえ、令和6年の開花後には伐採を予定である。（市当局）

**答弁** 市長として、行政的には伐採をすることが本意である。質問はメモリアル的な内容であったが、桜は特別な木、桜の生涯、情緒的ではあるが、朽ちるまで咲かせてやる考えもある。これまでも二転三転してきた。今回は伐採する方向で進めていた。しかし、答弁を180度変えて

しまうが、残す方向で再度検討する。（市長）

## 能登地震現場での消防救助隊、その学びは？

**質問** 派遣隊員からの報告、学びの情報展開をどう行っていくか。また、突発的な発災時の救助隊の編成について問う。

**答弁** 若手隊員を優先的に班編成し、総勢20名の隊員を派遣し、グループLINEで情報共有し、現地での情報を入力していた。隊員の経験を教訓として小野市の災害対策に生かせるよう意見集約し、市職員を対象とした研究発表の機会を通じ、防災対策を考える機会としたい。突発的な発災時も小野市消防は順次救助隊、消防隊、救急隊を編成し現場投入できる。（市当局）

掘井ひさ代議員（おの未来図）



## 住宅等の耐震化への対応・課題は？

**答弁** 補助金制度等の周知を継続。所有者管理が基本

**質問** 災害に強いまちづくりには、建物の耐震化を進めることが必要。旧耐震基準の住宅の耐震化率と今後の対応は？

**答弁** 南海トラフ地震に伴う被害を未然に防止するため耐震化を進めている。住宅の耐震化率は83.7%（平成30年度住宅土地統計調査）で、残る2,800戸については、所有者自らの課題として取り組むことが不可欠だが、補助金制度の周知や相談体制の整備を積極的に行う。（市当局）

**質問** 避難所指定の公共施設や、災害時重要路線緊急ルート沿線建物の耐震化は？

**答弁** 避難所指定の公共施設29箇所は耐震化が完了している。災害時重要路線緊急ルートは8ルート設定されており、市域内において倒壊の恐

れのある建築物は見当たらず通行に支障はない。（市当局）

**質問** 平成28年の熊本地震でも木造住宅を中心に多くの建築物が倒壊するなど大きな被害が発生した。新耐震基準よりさらに厳しく改正した2000年基準の木造住宅は、被害が格段に少なかった。国交省は、昭和56年6月〜平成12年5月に建てられた木造住宅の耐震性能を効率的に評価するため「新耐震木造住宅検証法」の活用を推奨していることについて伺う。

**答弁** 新耐震基準の木造住宅数は7,900戸。「新耐震木造住宅検証法」は、所有者自らチェックし検証する手法と認識している。今後さらに確認し、効果的であれば普及啓発していく。（市当局）

山本麻貴子議員（おの未来図）



## コロナ禍後の感染症対策は

**答弁** 今後も健康被害があれば、市へ相談を

**質問** 令和5年度秋接種、各年代別の接種率について伺う。

**答弁** 2月末現在で、8,651人が接種済。年代別には、0～19歳は2.6%、20～39歳は4.0%、40～64歳は12.4%、65歳以上の高齢者では44.0%と、年齢が高くなるほど接種率も高くなっている。（市当局）

**質問** 健康被害救済制度への進達状況を公開することについて伺う。

**答弁** 本市の予防接種健康被害調査委員会は非公開であり、匿名であっても個人に関わる情報は控えるべきと考える。国の情報へのリンクは、ホームページにおいて情報提供を行う。（市当局）

**質問** 市長の感染症対応の考えについて伺う。

**答弁** ワクチン接種は、本人または

保護者の同意が必要であり、今後も効果とリスクの正しい知識をもった上で、接種のご判断をいただきたい。

健康被害等があれば、市の調査委員会にかけて国へ進達を行なっていくという姿勢に変わりはない。（市長）

**質問** 長期臨時休校が予想される場合に備えたりモート授業の体制、端末の持ち帰りなど、コロナ禍を踏まえた「備え」の取り組みについて伺う。

**答弁** 1人1台端末を持ち帰り、リモート授業が実施できる体制の整備は、緊急時の持ち帰り対応マニュアル等で具体的な対応策を示し、各学校の実態に合わせた内容で訓練を実施している。リモート授業については、令和4年の学級閉鎖時に大部小学校での実施実績がある。（市当局）

高坂純子議員（無党派）



## 市内特殊詐欺被害金額約2,792万円

**答弁** 5年度19件。被害者の74%が65歳以上高齢者

**質問** 65歳以上が使用する自動録音電話機等の購入の費用補助と連携等について

**答弁** 補助金の上限は、自動録音電話機が1万円。外付け録音機は5千円。設置費用は含まない。新たな取り組みとして、県下の警察署と福祉部局において、特殊詐欺被害防止に関する協定の締結が進められている。（市当局）

## 多文化共生について

**質問** 小野市の外国籍住民は1,299人。十数か国の外国人の中でベトナム人が全体の半分を占める（令和5年10月末）。地域・行政・国際交流協会等の点を線で繋ぐ「小野市多文化共生コーディネーター」の配置が必要ではないか。

**答弁** 国際交流協会の中にそのような役割を果たす機能を有する人達を参画させるかということだと思おうので採用は考えていない。（市長）

**質問** 「技能実習」制度を廃止し「育成就労」制度へ変わることによって永住する外国人が増えると言われている。外国人の増加を見越した多文化共生への考えは。

**答弁** 雇用における基本的なスタンスは企業がしっかり考えていると思うし外国人の方は自立している。少し背中を押してあげるためにも国際交流協会の再構築も必要だ。組織は必要に応じて進化していくものなので心配することはないと思っている。（市長）

## その他の質問事項

令和6年度小野市一般会計予算について

河島信行議員（無党派）



## 能登地震被災地支援推進員制度の創設について

**答弁** 能登半島地震被災地支援推進員制度の創設はしない

**答弁** 既に、被災地の状況や要請に応じた全国一元的な応援職員の仕組みが構築されている。小野市からは、震災・学校支援チームとして教職員1名を派遣。また、石川県珠洲市へ職員2名を派遣している。総務省の「応急対策職員派遣制度」等により、全国各地の自治体から職員を派遣し、様々な支援活動が行われており、当制度創設の必要はない。（市当局）

**質問** 既に、被災地の状況や要請に応じた全国一元的な応援職員の仕組みが構築されている。小野市からは、震災・学校支援チームとして教職員1名を派遣。また、石川県珠洲市へ職員2名を派遣している。総務省の「応急対策職員派遣制度」等により、全国各地の自治体から職員を派遣し、様々な支援活動が行われており、当制度創設の必要はない。（市当局）

**質問** 市役所庁舎が移転したことに伴うルート変更により、河合方面かららんらんバスでの買い物に不便になったとの指摘をいただく。以前のルートに戻してはどうか。

**答弁** 河合統合ルート等、運行ルートを直に見直すことは考えていない。（市当局）

藤原 章議員（日本共産党）



## 能登半島地震ふまえて震災対策を

**答弁** 水道耐震化や避難対策などに注力している

**質問** 能登地域は水道が大変だが、小野市の水道耐震化を尋ねる。

**答弁** 基幹管路は優先的に耐震管に更新しており、45.1%で全国平均より高い。耐震化適合率では76.6%になる。（市当局）

**質問** 指定避難所の水・電気・燃料・トイレの確保は？

**答弁** 水は貯水槽や配水池の水を活用する。電気は倉庫に保管している発電機を使う。燃料は県石油商業組合小野ブロックと協定している。トイレはアレオの防災倉庫に8,200回分を確保している。（市当局）

**質問** 福祉避難所の運営を尋ねる。

**答弁** 市が開設する一般の避難所に対応が困難な方は、福祉事業所との協定に基づき、福祉施設で受け入れる。（市当局）

**質問** 仮設住宅の建設予定地は決まっているのか。

**答弁** 大池総合公園など1,304戸

い。郊外から市街地へのルートは、「イオン」バス停に停車するため、そこから他のルートのバスに乗り継げば主な商業施設に行くことができ。（市当局）

**質問** 白雲谷温泉ゆびかの賑わいづくりへの取り組みについて

**質問** 休日限定のファミリー向け割引券の発行について

**答弁** 割引券の導入は考えていない。（市当局）

**質問** 開業20周年記念イベントの開催について

**答弁** 記念事業等の開催は考えていない。3月に「誕生祭」を開催し、抽選会や20周年記念デコレーション等を行った。小野アルプスハイキングとの入浴セットレジヤープランも展開している。（市当局）

分を確保している。（市当局）

**質問** 青野原基地周辺の「注視区域」指定の影響

**質問** 陸上自衛隊青野ヶ原駐屯地周辺が「注視区域」に指定されたが、住民への影響を尋ねる。

**答弁** 「注視区域」は、土地売買時の届出は必要なく影響はない。基地機能を阻害する可能性があれば、中止等の勧告・命令がある。（市当局）

**質問** 福祉タクシー券のらんらんタクシー使用は？

**質問** 重度障がいの方には福祉タクシー券の支給があるが、らんらんタクシーに使用できないか。

**答弁** 二重の支援になる。運用方法や運行地域も違うなどの課題があり、タクシー乗務員の負担が大きいため使用できない。（市当局）

宮脇健一議員（日本維新の会）



QRコード



## 今後のDX推進の取組について

**【答弁】** 小野市公式LINEを起点に展開していく

**【質問】** すべての市民がデジタル化のメリットを享受できる暮らしに向けて、今後どのような取り組みを予定しているのか。

**【答弁】** 当市では、令和3年6月におのDXプロジェクト推進委員会を立ち上げ、「持続可能なまち おの」の実現を目指し、DX推進に取り組んでいる。

かんたん窓口システムやオンライン申請システム、キャッシュレス決済など様々なシステムを導入し、令和6年1月よりLINEを起点として市民サービスを提供する「持ち運べる市役所」を公開している。主な機能は、アレルゲン情報を加えた学校給食献立の配信、道路河川の異常や不法投棄などの通報機能、各種申請手続き、イベントやセミナーなど

の参加申し込み、金融機関と市への口座振替手続きなどがあり、さらにごみ収集日の通知機能の充実、お問い合わせ機能のAI化を盛り込んでいる。また、広報おのについても、デジタルブックを導入し、スマートフォンでも閲覧しやすいようにしている。

今後も市民サービスの拡充を図るべく、まちぐるみ健診の予約、おのアクティブポイント事業などのメニュー化を予定しており、ご利用いただけるメニューの充実・利便性の向上に取り組む。また、小野市公式LINEの使い方をメニューに配置するなど、より多くの方が簡単にご利用いただけるような手続き方法の簡便化、操作性の向上を進めていく。  
(市当局)

# 常任委員会審査報告

3月定例会の提出議案審査について、予算決算、総務文教、民生地域の各常任委員会を開催し、当局から細部にわたる説明を受け、慎重に審査しました。

## ≪予算決算常任委員会≫ (令和6年度予算審査はP2～3もご覧ください)

3月12日、14日、19日開催

付託議案数：11件（議案第1号～第11号）

審査結果：議案第3号以外に反対討論はなく、全会一致で可決すべきものと決定。議案第3号令和6年度小野市介護保険特別会計予算については反対討論があり、採決の結果賛成多数をもって可決すべきものと決定。

### ●主な審査内容

議案第8号 令和5年度小野市一般会計補正予算（第7号）について

平成22年から県内でいち早く学校空調設備を整備し、更新期限を迎える河合小学校・市場小学校の空調設備を更新するとともに、照明器具の老朽化による教室の照度不足を解消するため、小野小学校の全教室の照明をLED化することを確認しました。

## ≪総務文教常任委員会≫

3月22日開催

付託議案数：6件（議案第12号、議案第16号～第20号）

審査結果：反対討論はなく、全会一致で可決すべきものと決定。

### ●主な審査内容

議案第19号 小野市新型コロナウイルス感染症対策基金条例の廃止について

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類に移行し、新型コロナウイルス感染症対策に係る事業は一定の役割を終えたため、基金を廃止することを確認しました。

## ≪民生地域常任委員会≫

3月22日開催

付託議案数：3件（議案第13号～第15号）

審査結果：議案第13号以外に反対討論はなく、全会一致で可決すべきものと決定。議案第13号小野市介護保険条例の一部を改正する条例の制定については反対討論があり、採決の結果賛成多数をもって可決すべきものと決定。

### ●主な審査内容

議案第13号 小野市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

令和6～8年度の介護保険料の基準年額を年額69,600円から72,000円（+3.4%）に改定し、国の基準に合わせて、高所得者の区分を11段階から13段階に細分化し、低所得者の負担を軽減しようとすることを確認しました。

## 議会と市民との懇話会

一般質問を実施する日の議会休憩中に、傍聴に来られた方が議員の一般質問や市政などについて発言できる機会を設けています。傍聴に来られた方のみが体験できる時間ですので、ご覧になりたい方、参加したい方は是非とも議場にお越しください。



### 懇話会での意見

- 不法投棄されたごみの処分費用を無料にできないか
- 全自治会を対象とした火災警報器設置点検について
- 議会傍聴の感想

など

## 能登半島地震に対する義援金を送りました！

本年1月に発生した能登半島地震で被災された方に対し、兵庫県市議会議長会を通じて、小野市議会から10万円の義援金を送りました。

被害に遭われた方々に対し、心よりお見舞い申し上げ、一日も早い復興をお祈りいたします。

# 常任委員会活動報告

## 総務文教常任委員会

2月26日 総務文教常任委員会研修会

研修事項：小野加東加西環境施設事務組合（現状と今後について）

目的：小野クリーンセンターに代わる新ごみ処理施設建設についての経緯と今後の情報を共有。改選により1期目議員も多く、市民の皆様への正確な情報発信を行うため研修形式とした。

内容：令和5年9月7日に小野市・加東市・加西市の3市による「小野加東加西環境施設事務組合新クリーンセンター建設に係る覚書」を締結。

令和17年度（2035年）稼働を目指し、令和6年度（2024年）から基本構想策定に着手。

## 民生地域常任委員会

2月6日 行政視察 岡山県奈義町

「地域ぐるみの子育て支援施策」について

1. 奈義町について
2. 少子化対策の意義
3. 奈義町の子育て施策

奈義町担当者から詳しく説明を受け、そのあと「なごチャイルドホーム」の現場視察を行った。

少子化対策は最大の高齢福祉であるとの奈義町の子育て施策は大変参考になった。



2月29日 視察後の意見交換会開催

視察の振り返りを行い、引き続き、地域ぐるみの子育て支援について研究をしていく。

## DX調査研究検討部会

2月27日 LINEWORKSの運用開始。事務局との連携を強化。より迅速な情報共有・仕事の効率化を目指す。

3月27日 議会調査研究活動報告会

1月9日明石市議会 タブレット端末の活用とペーパーレス化について、

1月19日高砂市議会 議会ICTの取組について、行政視察の内容を全議員に報告し情報共有。

4月以降、議事システムのデモンストレーションを予定。

今後も引き続き議員間の合意形成を図るとともに、当局と足並みを揃えながらDX推進に取り組んでいく。

# 議会調査研究活動報告会

令和5年度 小野市議会 議会調査研究活動

各議員の報告書は、こちらから!!



令和6年3月27日 開催

派遣議員	派遣日	派遣先	内容
川名善三 宮脇健一 安達哲郎 前田昌宏 山本麻貴子 平田真実	1月9日	明石市議会	議会のDX化について ～タブレット導入後の活用状況～
	1月19日	高砂市議会	
前田昌宏 掘井ひさ代	1月10日～11日	全国市町村国際文化研修所 (滋賀県大津市)	市町村議会議員研修 自治体財政の見方 ～健全化判断比率を中心に～
山本麻貴子	1月22日～23日	全国市町村国際文化研修所 (オンライン受講)	第3回市町村議会議員 特別セミナー
宮脇健一	1月23日	リファレンス大阪駅前第4ビル (大阪府大阪市)	地方議員研究会財政集中講座 自治体財政の基礎

# 議員協議会

【一部事務組合議会報告】

令和6年3月27日 開催

## 小野加東加西環境施設事務組合

- 小野市・加東市・加西市での新ごみ処理施設地域に親しまれ、開かれた施設をコンセプトに、浄谷黒川丘陵地に建設予定。廃熱利用の温水プールやグラウンドゴルフの出来る芝生広場を併設。
- 物価高騰で三木市にお誘い  
当初予定の建設費が1.6倍に膨らんだ三木市に合同でのごみ処理を打診するも、単独処理を目指すとの回答。
- なぜごみ処理を合同で  
人口に関係なく、焼却炉建設費は大きく変わらず、多くのごみを一挙に処理の方がコストダウンとなり市民のごみ処理負担金も軽減。

## 北播磨総合医療センター企業団

- 看護師の確保も計画どおり進み、令和6年3月に1病棟を再開。
- 医師の数も増加傾向で、手術室の増設や感染対策の充実を図るべく病院棟を増築・改築する予定。
- ☆小野市はもとより北播磨地域の高度医療を担う病院を、市民の代表である議会という視点から支えて行けるように企業団議員一丸となって取り組んでいます。

## 小野加東広域事務組合

- 斎場は葬送の場として社会生活上必要不可欠な施設で、適切に管理運営する事は、環境衛生上また住民福祉の面からも重要な課題。湧水苑は築22年が経過し、施設の老朽化が進行していますが、予防保全、維持管理を行い、清潔、清楚な環境を保持しながら皆様に信頼される施設となるよう努めています。
- 小動物の火葬をご利用される場合は事前に電話をお願いします。
- 王子ヶ丘墓苑（福住町）の管理も行っています。※空き区画あり。（TEL:0794-67-0164）

## 北播衛生事務組合

- 西脇市・小野市・加東市から発生する、し尿及び浄化槽汚泥等の処理をする施設。放流水は施設改修により公共下水道へ繋がっています。
- ☆天然芝で手入れが行き届いた隣接する南部衛生公園では、週末にサッカーチームが訪れ練習や試合に汗を流しています。平日は小さなお子様を連れてのお散歩もいかがでしょうか？

# 議会を傍聴しませんか

## ☆5月臨時会日程☆

5月10日(金) 午前10時～

## ☆6月定例会日程☆

5月31日(金) 午前10時～  
本会議(第1日) 議案説明

6月17日(月) 午前10時～  
本会議(第2日) 一般質問

6月18日(火) 午前10時～  
本会議(第3日) 一般質問

6月27日(木) 午後1時30分～  
本会議(第4日) 議案の採決など

- ★一般質問では、市長から提出された議案や、市政全般について議員が質問し、市長や部長等が答弁します。
- ★6月定例会で一般質問する項目・内容については、6月上旬に市議会ホームページに掲載します。

### 「手話通訳」・「要約筆記」を利用できます

本会議を傍聴される際に「手話通訳」・「要約筆記」を利用することができます。  
希望日の8日前までに議会事務局までお申し込みください。  
(費用負担はありません)



### 傍聴に行けなくても YouTubeで会議中継



### マチイロ

アプリをダウンロードするとスマホに広報誌が届きます!



傍聴席から見た議場

小野市議会では、本会議を一般公開しています。当日受付で、住所・氏名を記入するだけで、どなたでも議会の傍聴ができます。  
市役所6階 議会事務局までお越しください。

### 議会と市民との懇話会

一般質問を行う日の本会議休憩中に、傍聴者の方からご意見をいただく機会を設けています。展開される議論にご注目ください。一般質問は6月17日(月)、18日(火)に行います。

### 「託児コーナー」を開設

一般質問を行う6月17日(月)、18日(火)は、「託児コーナー」を開設します。傍聴の際には、1歳から就学前のお子様をお預かりします。6月7日(金)までに議会事務局までお申し込みください。  
(費用負担はありません)



### 議会傍聴者数

3月定例会47名  
(令和5年度累計188名)

《お申し込み先》 議会事務局 TEL. 63-1006(直通) FAX. 63-4108  
E-mail: gikai@city.ono.hyogo.jp (市議会だよりへのご意見もこちらまで)

【市議会報編集委員会】  
委員長 山本悟朗  
副委員長 喜始真吾  
委員 堀井ひさ代  
委員 山本麻貴子  
委員 宮脇健一  
委員 村本洋子  
委員 平田真実

(市議会報編集委員)  
村本洋子

これからも皆さまに興味を持って頂ける紙面づくりに取り組んでまいります。ぜひ、ご感想などお寄せください。

あ  
と  
が  
き

小野市議会だよりをご覧いただき、ありがとうございました。

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。